

|                  |   |
|------------------|---|
| Title            | 奥付  |
| Sub Title        |   |
| Author           |   |
| Publisher        | 慶應義塾経済学会  |
| Publication year | 1955  |
| Jtitle           | 三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.48, No.2 (1955. 2)  |
| JaLC DOI         |   |
| Abstract         |   |
| Notes            |   |
| Genre            |   |
| URL              | <a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19550201-0099">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19550201-0099</a> |

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

「今まで一般に行なわれていた歴史をその儘受取つていいものだろうか」。敗戦によつて、従來の歴史に對し強い疑問が起り、歴史研究は隆盛に向つた。支配者の歴史ばかりではない。大衆の歴史がどうなつていたかということについても關心が高まり、戦後の著しい特徴となつた。最近における地方史研究の盛況は實にこのような事情と關連がある。

現に、地方史の研究が全国的に進められ、相當な成果が擧げられている。しかし手の着けられない部分が未だに多い。江戸時代の關東農村もそのような地方の一つであつた。數年來、我々はこの關東農村を取上げ、その成果を、「關東農村の史的研究」と題し、本誌特集號を通じて逐次發表して來た。今回はその第四集である。我々の研究が歴史家の共通の財産となり、歴史學の前進のために少しでも役立てば、それ以上の喜びはない。

終りに、豊富な史料を提供され、且つ懇切な指導を惜しまれなかつた野村兼太郎博士の御好意に對し、深く謝意を表すると共に、一層の精進をお誓いする。

(渡邊國廣)

昭和三十年一月二十五日印刷  
昭和三十年二月一日發行

第四十八卷 定價 七〇圓  
第二號 送料 八圓

編集者 氣 賀 健 三  
發行者 東京都港區芝三田慶大經濟學部内

印刷所 東京都港區芝三田豐岡町八  
川 口 芳 太 郎

豫約購讀料

一年分 金八四〇圓(送料共)  
半ヶ年分 金四二〇圓(〃)

發行所 東京都港區芝三田二丁目  
慶應義塾大學經濟學部研究室内  
慶應義塾經濟學會